

高知市交通基本計画及び高知市地域公共交通計画 策定スケジュール(予定)

令和3年

4月	高知市交通基本計画 庁内・外関係機関ヒアリング	高知市地域公共交通計画 事業者ヒアリング
5月13日	企画調整会議	—
5月17日	まち・ひと・しごと創生本部会	
5月25日	第1回高知市交通問題審議会(書面) ・高知市交通基本計画(現行) ・高知市交通基本計画(次期)の諮問	
7月5日	まち・ひと・しごと創生専門部会	
7月8日	企画調整会議	
7月12日	まち・ひと・しごと創生本部会	
8月11日	第2回高知市交通問題審議会 ・現行計画の総括と次期計画の概要案	第2回高知市地域公共交通会議 ・現行計画の総括と次期計画の概要案
8月 中～下旬	市議会 (まちづくり調査特別委員会)へ報告	市議会 (まちづくり調査特別委員会)へ報告
10月中旬	まち・ひと・しごと創生専門部会	
10月下旬	企画調整会議	
11月上旬	まち・ひと・しごと創生本部会	
11月19日	第3回高知市交通問題審議会 ・次期計画の「素案」	第3回高知市地域公共交通会議 ・次期計画の「素案」
11月下旬	市議会 (まちづくり調査特別委員会)へ報告	市議会 (まちづくり調査特別委員会)へ報告
12月 1日～28日	パブリックコメントの実施	パブリックコメントの実施

令和4年

1月下旬	まち・ひと・しごと創生専門部会	
2月上旬	企画調整会議	
2月中旬	まち・ひと・しごと創生本部会	
2月下旬	第4回高知市交通問題審議会 ・次期計画の「最終案」	
2月下旬	高知市交通基本計画「答申式」 市議会 (まちづくり調査特別委員会)へ報告	
3月下旬	高知市交通基本計画(次期)の策定	高知市地域公共交通計画(次期)の策定

：リーディングプロジェクトとして重点的かつ優先的に取り組む施策

リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトは、重点的かつ優先的に取り組む必要がある対策を複数の施策をパッケージ化し、市民・事業者・行政が連携・協働のもとに、基本計画を牽引する役割を担っています。

リーディングプロジェクト1
自然地域等の交通を支え育む
プロジェクト

《将来像》
人とまちをつなぎ、
環境を守りにぎわい
をうむ
高知の交通

リーディングプロジェクト2
公共交通の活性化・
再生をめざす
プロジェクト

リーディングプロジェクト3
快適な都市交通の形成
プロジェクト

リーディングプロジェクト4
歩いて楽しい
中心市街地のにぎわい創出
プロジェクト

1：自然地域等の交通を支え育むプロジェクト

＜最終の姿＞

- 地域社会全体で公共交通を支えていく意識の醸成を図ります。
- 公共交通空白地・不便地を有する自然地域における地域交通の導入に向けた取組を進めます。



公共交通の確立への意識の醸成	施策 1：多様化するニーズに即した公共交通の確立
自然地域における地域交通の導入	施策 24：自然地域等における地域交通の導入
連携・協働のしくみづくり	施策 30：地域内連携協議会と行政とのしくみの構築

＜対象ゾーン＞

田園地域ゾーン

中山間地域ゾーン

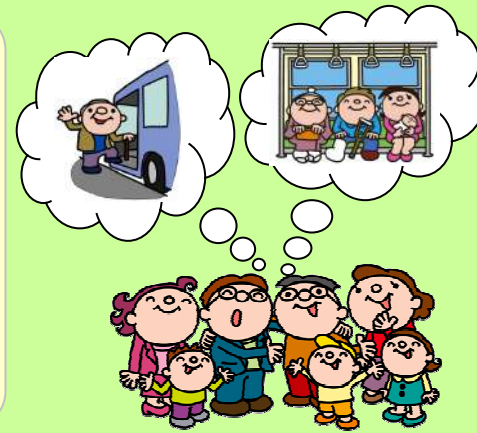
＜対象交通手段＞

公共交通

2：公共交通の活性化・再生をめざすプロジェクト

＜最終の姿＞

- 公共交通の利用者離れを改善するために、分かりやすい公共交通情報の提供を進めるとともに、運営の効率化に向けた取組を進めます。
- 公共交通の利用者が増加し、活気のある公共交通の形成により、高知市全体の活性化をめざします。



公共交通を利用しやすい環境づくり	施策 8：分かりやすい公共交通情報の提供
公共交通の再生	施策 3：公共交通の運営の効率化
公共交通の活性化	施策 18：都市内公共交通の形成

＜対象ゾーン＞

市内全域

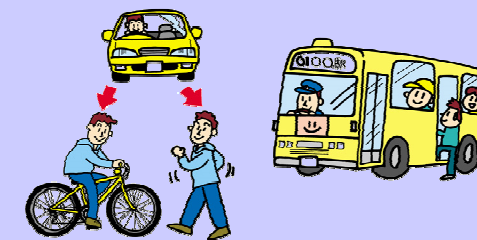
＜対象交通手段＞

公共交通

3：快適な都市交通の形成プロジェクト

＜最終の姿＞

- エコ通勤の普及や交通結節点の機能向上により、快適な交通環境の整備を実施します。
- 公共交通と自動車交通のベストミックス化（最適な組み合わせ）を進め、車依存からの脱却と円滑な都市交通の形成をめざします。



交通手段を考えるきっかけづくり	施策 5：エコ通勤の普及
公共交通の利用環境向上	施策 17：交通結節機能の強化
ベストミックス化の推進	施策 20：パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進

＜対象ゾーン＞

市内全域

＜対象交通手段＞

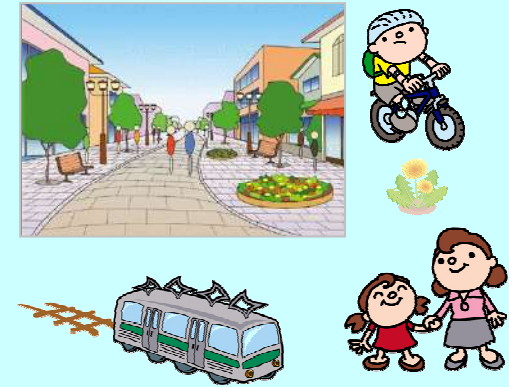
公共交通

自動車交通

4：歩いて楽しい中心市街地のにぎわい創出プロジェクト

＜最終の姿＞

- 歩いて楽しい中心市街地の形成と公共交通の利用促進を実施します。
- 追手筋通り等を歩行者等が優先された通りとしていく整備をめざします。



基盤整備	施策 29：中心部における自動車通過交通の抑制
きっかけづくり	施策 27：自転車と歩行者が快適に通行できる空間づくり
歩いて楽しい中心市街地へ	施策 28：歩行者優先空間の検討

都心ゾーン

自動車交通

徒歩・自転車交通

計画の推進に向けて

1. 関係機関の連携・協働と役割について

公共交通、自動車交通、徒歩・自転車交通の交通全般を維持・発展するためには、市民（市民、NPO、企業等）・交通事業者・行政（国、県、市、警察）などの各主体がそれぞれの役割を認識した上で、各主体内はもとより各主体間で互いの特性を活かし、補完し合いながら連携と協働を図っていくことが重要です。

2. 計画実現に向けた基本的な考え方

（1）意識改革と行動改革

めざすべき将来像や交通課題を共有していくとともに、各主体が当事者意識を持ち、行動改革につなげていくことが求められます。

（2）効果的な事業実施

交通事業者や行政の厳しい財政状況の中においては、選択と集中による重点的かつ効果的な投資を行い、効率的に施策を推進するとともに、既存ストックも有効活用していく必要があります。また、ハード整備施策やソフト施策を連携して実施することにより、相乗効果を高めていく必要があります。

3. 計画推進の基本方針

市民の視点に立ち、地域のニーズや特性を把握し、市民の合意のもとに諸課題に的確に対応していくことが求められます。また、各主体が計画の主旨を理解し、連携・協働を図りながら、それぞれの役割を果たしていくことが必要です。

そのために、市民参加の機会を設け、様々な意見が反映できるようなしくみづくりや体制づくりを整え、実効性を高める進行管理を行います。

本市の状況

高知市を取り巻く状況

少子高齢化・人口減少の一層の進行

平成17（2005）年から人口の自然減が継続しており、全国に先行する形で少子高齢化、人口減少が進行しています。

価値観・ライフスタイルの多様化

家族や世帯のあり方、地域社会のすがた、人と人のつながりが変化しています。これらの変化を踏まえた地域共生社会の実現が求められています。

経済のグローバル化の進展

ヒト・モノ・カネ・情報が移動することにより、経済危機と同様に、自然災害、感染症などの課題もグローバルに連鎖しています。

地球温暖化への対応

私たちの生活に深刻な影響を及ぼし始めている地球温暖化への対策として、温室効果ガス排出量を削減する取組が求められています。

産業を取り巻く環境の変化

デジタル技術の急速な進展により、産業構造や雇用のあり方が変化しています。人口減少の進行により、労働力不足が懸念されます。

持続可能な行財政運営の実現

経済発展と社会的課題の解決を両立する社会（Society5.0）にふさわしい行政のデジタル変革や、SDGs（持続可能な開発目標）の取組が求められています。



人口減少と少子高齢化の進展

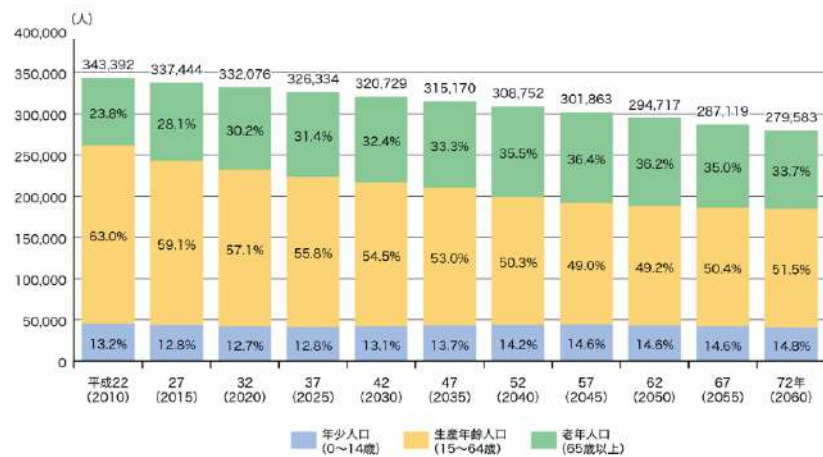
本市では、死亡者数が出生数を上回る人口の自然減が継続しており、若者を中心とする県外への転出超過も相まって、全国に先行する形で少子高齢化、人口減少が進んでいます。

少子化に伴う人口減少は、労働力人口の減少や消費の縮小、税収の減少といった社会経済の根幹を揺るがす危機的な状況を招く恐れがあります。

また、本市の高齢化率は高い状況で推移しており、2020（令和2）年4月1日現在の高齢化率は29.65%となっています。

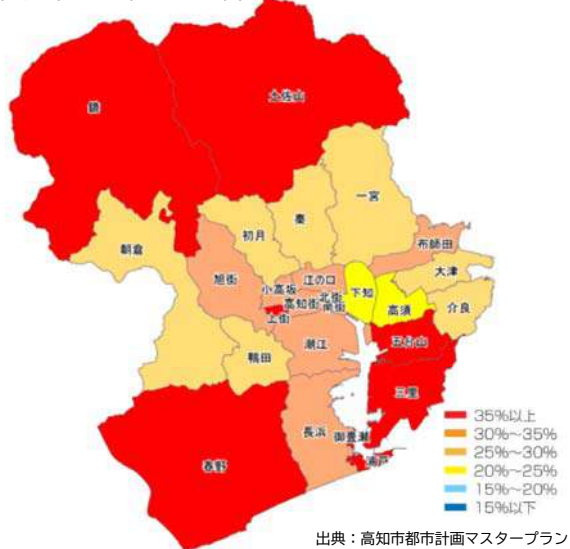
このような超高齢社会の到来は、担い手の高齢化や人材不足など、さまざまな影響を及ぼす可能性があります。

〈年齢3区分人口比率の推移〉



出典：2011高知市総合計画後期基本計画

〈高知市の老年人口比率〉



出典：高知市都市計画マスタープラン

〈人口動態の推移及びその内訳〉



出典：2011高知市総合計画後期基本計画

国の動き

改正交通政策基本法の見直しのポイント

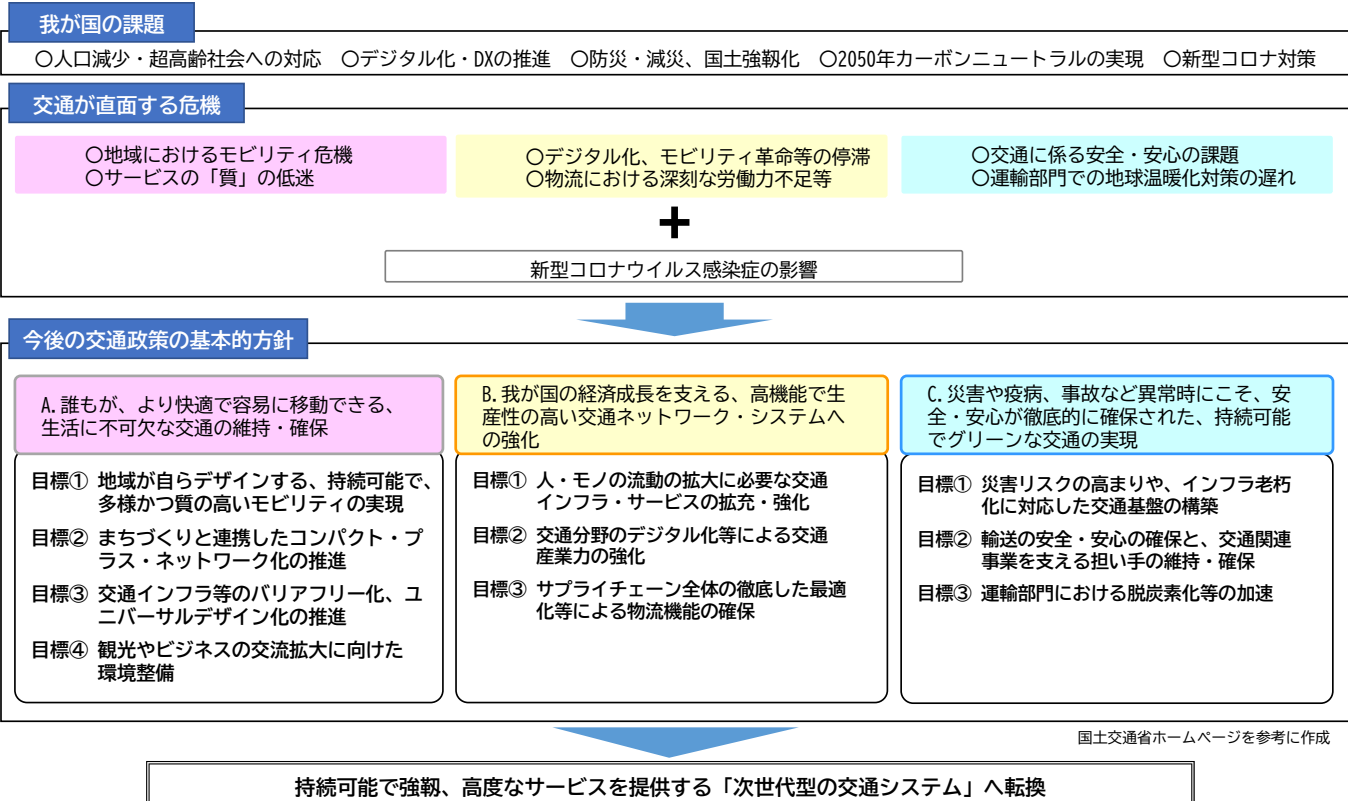
平成25年に制定された交通政策基本法では、国民等の交通に対する基本的な需要が適切に充足されることが重要との認識の下、国が推進する交通施策についての基本理念と基本的な施策が定められています。改正法（令和2年12月成立）では、「地域社会の維持及び発展」と「社会経済活動の持続可能性」の観点が増加され、交通需要の減少下においても日常生活の交通手段の確保、拠点の形成、人材の確保、観光等との連携などにより円滑に移動ができるようにすることが明記されています。

基本理念等（第2条～第7条）	国の施策
基本的認識（第2条） ○交通の果たす機能 ・国民の自立した生活の確保 ・活発な地域間交流・国際交流 等 ○国民等の交通に対する基本的需要の充足が重要	【豊かな国民生活の実現】 ○日常生活の交通手段の確保（第16条） ○高齢者、障害者等の円滑な移動（第17条） ○交通の利便性向上、円滑化、効率化（第18条）
交通機能の確保・向上（第3条） ○社会・経済基盤としての交通の役割 人口減少・交通需要の減少下においても ・地域社会経済の活性化・維持・発展への寄与 ・社会経済活動の持続可能性の確保	【国際競争力の強化】 ○国際海上・交通輸送のネットワークと拠点の形成、アクセス強化（第19条） 【地域の活力の向上】 ○国内交通ネットワークと拠点の形成（第20条） ○交通に関する事業の基盤強化、人材育成・確保等（第21条）
環境負荷の低減（第4条） 様々な交通手段の適切な役割分担と連携（第5条）	【大規模災害への対応】 ○大規模な災害が発生した場合における交通の機能の低下の抑制及び迅速な回復等（第22条）
交通安全の確保（第7条） 交通安全対策基本法に基づく交通安全施策と十分に連携	【環境負荷の低減】 ○エコカー、モーダルシフト、公共交通利便増進等（第23条）
国、地方自治体、事業者等の関係者の責務等（第8条～第11条）	【適切な役割分担と連携】 ○総合的な交通体系の整備（第24条） ○まちづくり、観光等との連携（第25条～第27条）
関係者の連携・協働（第6条、第12条）	

国土交通省ホームページを参考に作成

第2次交通政策基本計画の概要

令和3年5月に閣議決定された第2次交通政策基本計画では、人口減少やコロナ禍の影響により、交通事業が独立採算制を前提として存続することは困難とされています。今後の交通政策の柱として3つの基本的方針を定め、多様な主体の連携・協働の下、あらゆる施策を総動員して取り組むこととされています。



国土交通省ホームページを参考に作成

高知市を取り巻く環境の変化〈交通〉

公共交通

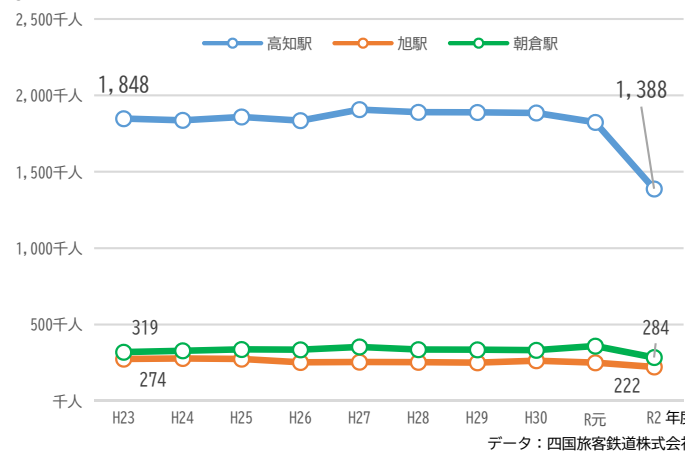
過去10年間の利用者の状況は、ＪＲと路面電車は概ね横ばいを維持しています。

一方で、路線バスや乗用タクシーは大きく減少しており、事業者は厳しい経営を強いられています。

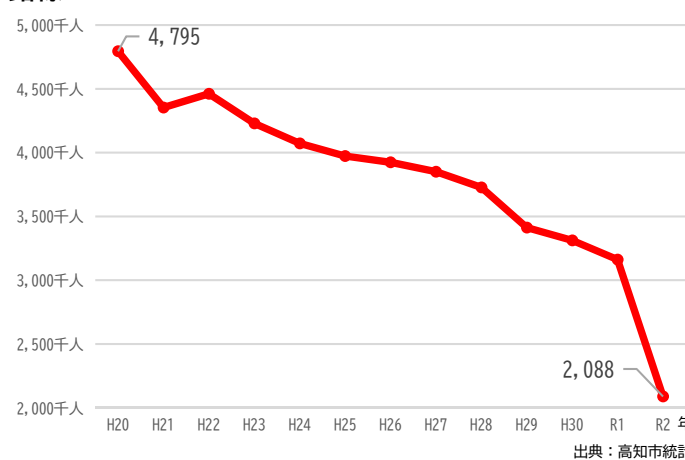
本市では、路線バスにかわるデマンド型乗合タクシーの導入を進めることで、路線バスの不採算路線の廃止とタクシー収益増を図ってきましたが、抜本的な解決には至っていません。

加えて、新型コロナウイルスの影響により事業者はかつてない経営危機に陥っており、交通崩壊の危機が目前に迫っている状況にあるなか、すべての人が安全・快適に移動できる持続可能な交通ネットワークの形成が求められています。

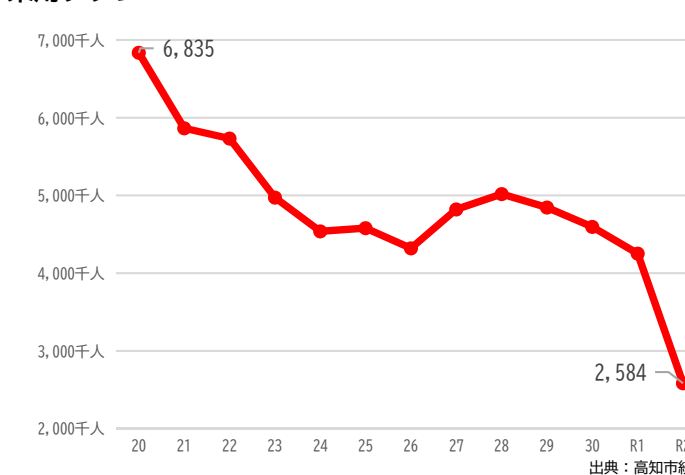
J R



路線バス



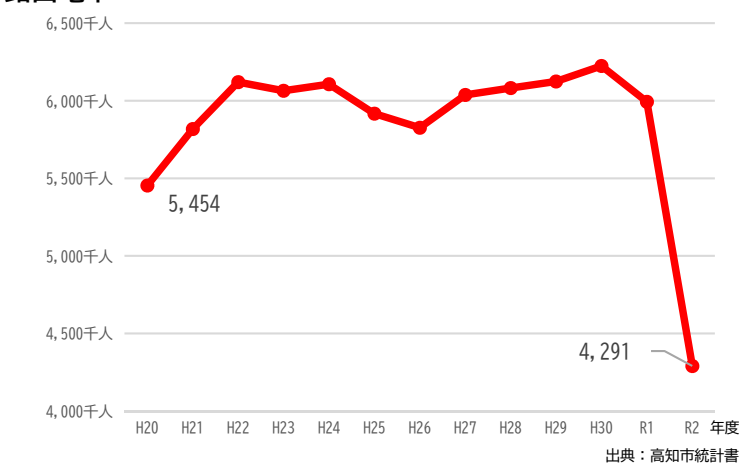
乗用タクシー



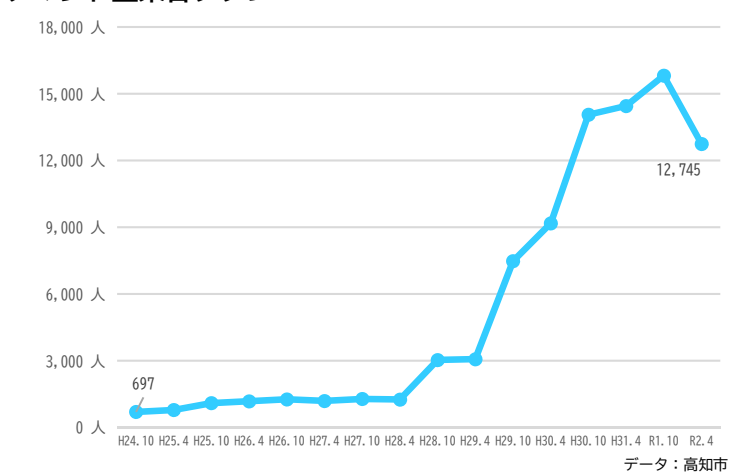
本市の公共交通ネットワーク



路面電車



デマンド型乗合タクシー



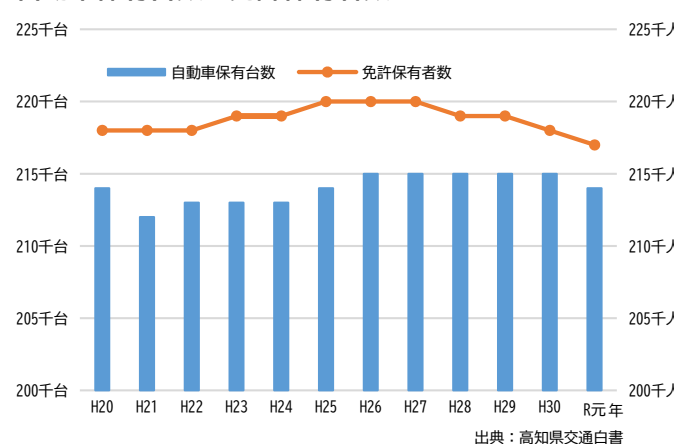
自動車交通

本市の交通手段別の利用率は自動車が最も高く、公共交通の利用率が非常に低いのが特徴です。

また、近年の自動車の保有台数と免許保有者数は減少傾向にありますが、依然として高い水準を維持しており、自動車中心の社会であると言えます。

一方で、高齢ドライバー事故の社会問題化や脱炭素型社会の推進など、今後、自動車交通から公共交通への転換が望まれているとともに、公共交通を維持・確保していくことが求められています。

自動車保有台数と免許保有者数



徒歩・自転車交通

中心市街地の歩行者通行量は、近年増加傾向にありますが、新型コロナウイルスの影響により大きく減少しています。

自転車は、高知駅では、主要な交通結節点として駐輪場が整備されています。しかし、歩道上への違法駐輪が歩行者の通行の妨げになるなど、自転車と歩行者が安全で快適に通行できる空間づくりが課題となっています。

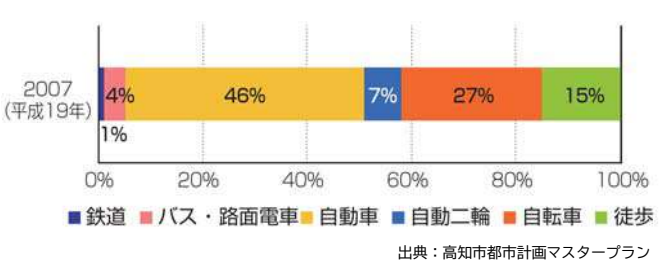
交通事故は、約3分の1が歩行者・自転車の事故となっており、また高齢者の割合が高いことから、より一層の交通安全対策が求められています。

駐輪整備状況

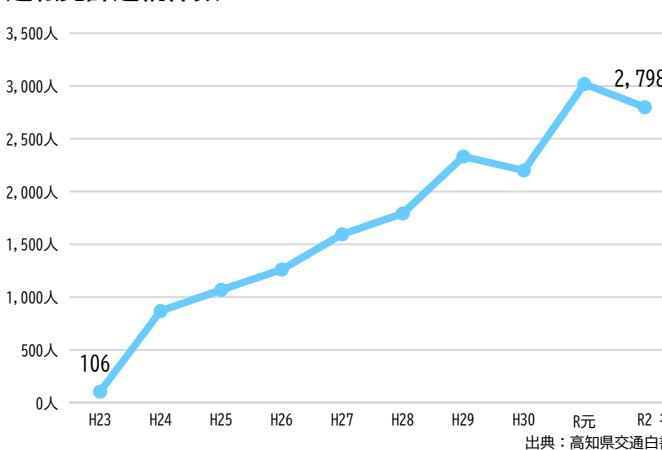
	名称	面積 (㎡)	収容台数 (台)	
			自転車	原付
駐輪場	1. 帯屋町公園駐輪場	927.02	512	120
	2. 新京橋プラザ駐輪場	616.36	250	50
	3. 追手前公園駐輪場	917.44	382	140
	4. 高知駅東駐輪場	372.2	674	0
	5. 高知駅西駐輪場	469.46	1,025	0
	小計		2,843	310
簡易駐輪場	1. 升形北簡易駐輪場	90	64	0
	2. 高知駅南簡易駐輪場	114	0	4
	3. 大橋通南簡易駐輪場	61	25	0
	4. 美術館通簡易駐輪場	18	12	0
	5. 文珠通簡易駐輪場	158	109	0
	6. 高須簡易駐輪場	20	13	0
	7. 西高須簡易駐輪場	23	15	0
	8. 鹿兒簡易駐輪場	46	31	0
	9. 鎮石通簡易駐輪場	65	45	0
	10. 高知駅北簡易駐輪場	546	160	38
	11. 円行寺口簡易駐輪場	420	97	24
	12. 入明簡易駐輪場	467	128	24
	13. 知寄町三丁目簡易駐輪場	49.61	43	0
	14. 朝倉駅簡易駐輪場	908	410	0
	小計	2,985.61	1,152	132
合計		6,288.09	3,995	442

出典：高知市交通安全業務概要

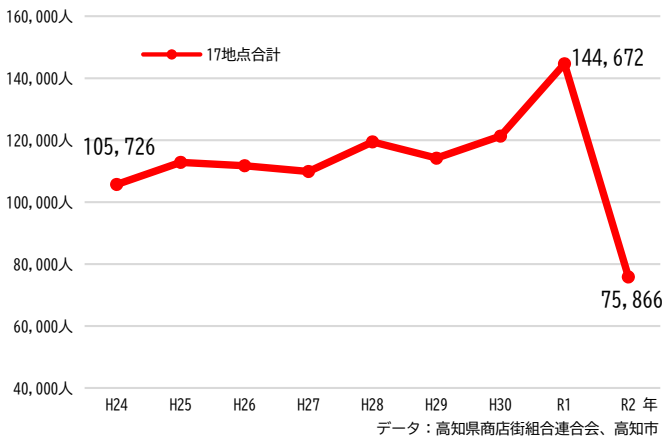
交通分担率



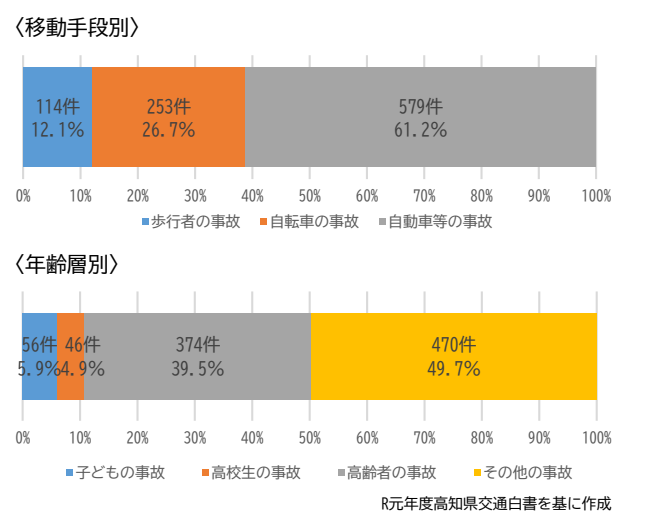
運転免許返納件数



中心市街地の歩行者通行量



交通事故発生状況



調査概要

- 調査目的 「2011 高知市総合計画（2016 基本計画改訂版）」に位置ける各施策の重要性・満足度を把握し、今後の市政運営に当たっての資料として活用する目的で、「令和2年度高知市民意識調査」を実施
- 調査地域 高知市全域
- 対象者 令和2年度5月1日現在の住民基本台帳登録者の内、20歳以上の市民269,430人の中から3,000人を無作為抽出
- 実施期間 令和2年6月17日(水)～令和2年7月7日(火)
- 実施方法 郵送配送・郵便回収調査法
- 回収状況 回収数 1,412人
回収率 47.1%

令和2年度
高知市民意識調査
調査結果報告書

高知市

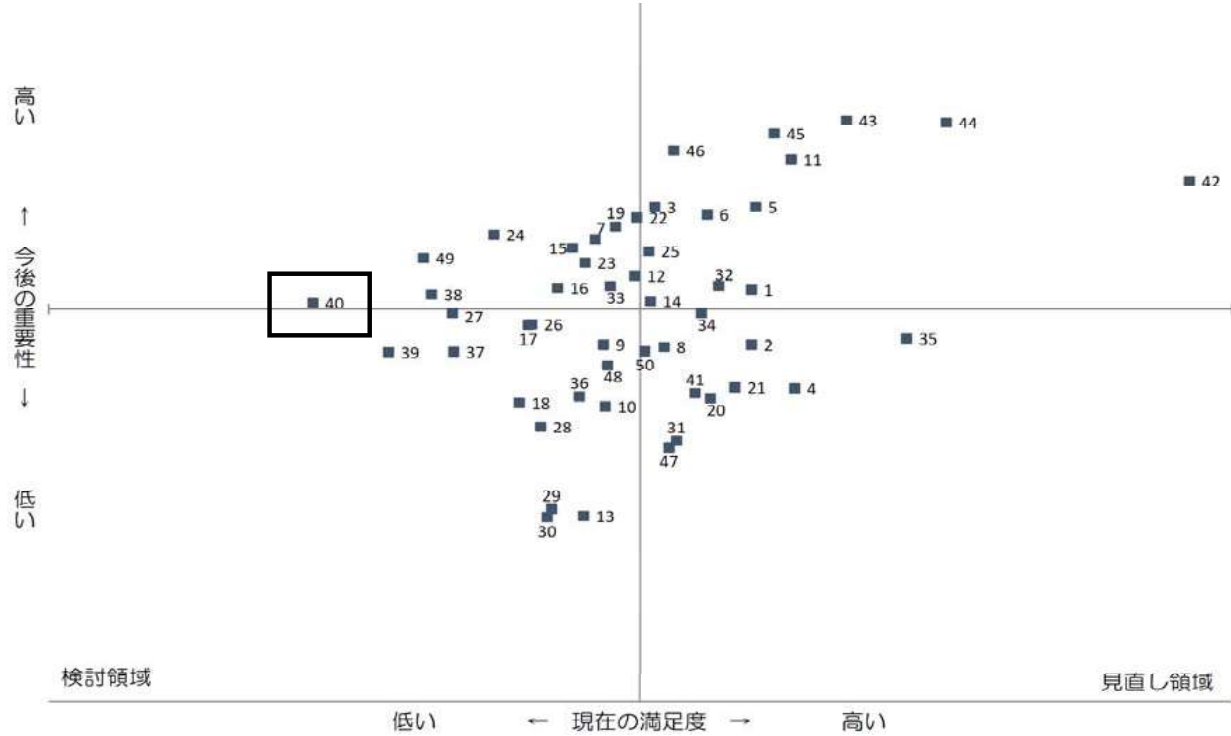
調査結果

現在の満足度の低い施策は、「40.安全で円滑な交通体系の整備」が最も低く、次いで、「39.地域特性を生かした、バランスのとれた都市の形成」と続いています。

強化領域である現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策は「40.安全で円滑な交通体系の整備」、「49.市民から信頼される行政改革・財政の健全化」となっています。

また、性別・年齢別・世帯構成別、居住意向別で現在の満足度が最も低い施策は、「40.安全で円滑な交通体系の整備」となっています。

＜市の施策に対する満足度・重要性の相関図（全体）＞



調査内容 ＜抜粋＞

本市が実施している50の施策について、現在どれくらい満足されていますか。また、今後の重要性についてどのようにお考えですか。

設問 項目		現在の満足度					今後の重要性				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらともい えない	どちらかといえ ば不満	不満	重要性が高 い	どちらかとい えば 重要性が高 い	どちらともい えない	どちらかとい えば 重要性が低 い	重要 性が低 い
1	豊かな自然を育む緑と水辺の保全 自然のしくみへの理解を促進し、自然の保全・再生、維持管理を継続して行う等、自然と共生するまちづくりに取り組んでいます。	a	b	c	d	e	ア	イ	ウ	エ	オ
}		}					}				
40	安全で円滑な交通体系の整備 利便性が高い快適な交通環境の実現に向けて、広域交通ネットワークの強化を図るとともに、地域の実情に応じた公共交通体系の構築や、公共交通の利用促進の取り組みんでいます。	a	b	c	d	e	ア	イ	ウ	エ	オ
}		}					}				
50	持続可能な公共施設の提供 公共施設の適切な管理等を行い、安全・安心で将来にわたり持続して使用できる公共施設サービスの提供に取り組んでいます。	a	b	c	d	e	ア	イ	ウ	エ	オ

＜相関図の図形について＞

1.豊かな自然を育む緑と水辺の保全	26.青少年の健全な心と体の育成
2.豊かな自然とのふれあい	27.高等学校教育の充実
3.地球にやさしい環境汚染の防止	28.学びが広がる生涯学習の推進
4.地域文化の継承と発展	29.ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
5.資源循環型都市の構築	30.多様で魅力的な芸術・文化活動の推進
6.廃棄物の適正処理による環境負荷の低減	31.先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進
7.環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進	32.大地の恵みを活かした農業の振興
8.平和理念の普及と人権尊重の社会づくり	33.山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
9.男女が共に活躍できる社会づくり	34.地場企業の強みを活かした産業の振興
10.地域の絆を強める地域コミュニティの活性化	35.観光魅力創造・まごころ観光の推進
11.地域防災力の向上(命をつなぐ対策の推進)	36.魅力あふれる商業の振興
12.地域住民の支え合いによる地域福祉の推進	37.新たな事業の創出と企業誘致
13.NPO・ボランティア活動の推進	38.いきいきと働ける環境づくり
14.生きがいがづくりと介護予防の推進	39.地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成
15.高齢者の地域生活支援	40.安全で円滑な交通体系の整備
16.障がいのある人への支援	41.魅力あふれる都市美・水と緑の整備
17.障がいのある人の社会参加の促進	42.安全で安定した水道水の供給
18.生活困窮者の自立支援	43.命を守る対策の推進
19.地域医療体制と健康危機管理体制の確立	44.消防・救急・医療体制の強化
20.衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進	45.災害からの迅速な復旧
21.生涯を通じた心身の健康づくり支援	46.復旧・復興体制の強化
22.子ども・子育て支援の充実	47.多様な交流・連携の推進
23.心と体の健やかな成長への支援	48.新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進
24.生きる力を育む学校教育の充実	49.市民から信頼される行政改革・財政の健全化
25.安全で安心な教育環境の整備	50.持続可能な公共施設の提供

現行計画の総括について

基本方針		市民とともに 公共交通を守り・育て・支えあうにぎわいあふれる交通ネットワークの構築	
基本目標1		いきいきとした市民生活を支え、人と環境にやさしい交通	
(施策の方向)	(施 策)	(評価)	(次期計画への反映)
①利用者のニーズに即した交通環境の整備	1 多様化するニーズに即した公共交通の確立	A	継続
	2 異業種連携による移動手段の充実		
②公共交通の利用促進	3 公共交通の運営の効率化	B	見直し → 公共交通の確保・維持 公共交通の利用促進
	4 ICカード「ですか」の利用促進		
③通勤時の自動車利用の抑制	5 エコ通勤の普及	A	継続
④バリアフリーの推進	6 交通基盤のバリアフリーの推進	B	見直し → バリアフリー・ユニバーサル デザインの推進
	7 公共交通のバリアフリーの推進		
	8 分かりやすい公共交通情報の提供		
	9 職員・市民等への周知・啓発活動		
⑤ECO交通の推進	10 エコバイシクル運動の推進	A	継続
	11 環境に配慮した自動車利用の促進		
⑥自転車環境の向上	12 コミュニティサイクル等の検討	A	継続
	13 自転車道の整備		
基本目標2		人とまちをつなぐ安全・快適な交通	
(施策の方向)	(施 策)	(評価)	(次期計画への反映)
⑦人にやさしい交通環境の整備	14 あんしん歩行エリアの拡大	A	継続
	15 道路網の再編成		
⑧都市交通の円滑化の推進	16 放射道路や環状道路による道路ネットワークの形成	B	見直し → 利便性向上
	17 交通結節機能の強化		
	18 都市内公共交通の形成		
	19 既存の駐車場・駐輪場の有効活用		
⑨自動車から公共交通への転換	20 パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進	A	継続
基本目標3		高知の魅力・活力を高める交通	
(施策の方向)	(施 策)	(評価)	(次期計画への反映)
⑩広域交通ネットワークの強化	21 高速・広域交通体系へのアクセス機能の強化	A	継続
	22 鉄道を活用した都市幹線の機能強化		
⑪地域交通の強化	23 生活道路等の整備	A	継続
	24 自然地域等における地域交通の導入		
⑫観光交通環境の整備	8再 分かりやすい公共交通情報の提供	B	見直し → 観光振興
	25 二次交通の充実と利用促進		
	26 観光バスの乗降スペースの確保		
	27 自転車と歩行者が快適に通行できる空間づくり		
⑬中心市街地の回遊性の向上	28 歩行者優先空間の検討	B	見直し → にぎわいづくり
	29 中心部における自動車通過交通の抑制		
基本目標4		市民・事業者・行政と連携・協働し、支え育てる交通	
(施策の方向)	(施 策)	(評価)	(次期計画への反映)
⑭NP0・ボランティア活動等の推進	30 地域内連携協議会と行政との協働のしくみの構築	A	継続
	31 NPO・ボランティア活動などへの支援		
⑮交通マナー等の意識啓発	32 交通安全の推進	A	継続
	33 交通安全施設の整備		
	34 違法駐車、放置自転車等の対策		

※【評価方法】
施策に関連する各課の事業の評価を基礎として、施策の方向ごとに
A（継続）、B（見直しを行い事業継続）として評価

次期計画の方向性について

資料6

■現行計画

基本目標1 いきいきとした市民生活を支え, 人と環境にやさしい交通	
(施策の方向)	(施策)
①利用者のニーズに即した交通環境の整備	1 多様化するニーズに即した公共交通の確立
	2 異業種連携による移動手段の充実
②公共交通の利用促進	3 公共交通の運営の効率化
	4 ICカードですか」の利用促進
③通勤時の自動車利用の抑制	5 エコ通勤の普及
④バリアフリーの推進	6 交通基盤のバリアフリーの推進
	7 公共交通のバリアフリーの推進
	8 分かりやすい公共交通情報の提供
	9 職員・市民等への周知・啓発活動
⑤ECO交通の推進	10 エコバイシクル運動の推進
	11 環境に配慮した自動車利用の促進
⑥自転車環境の向上	12 コミュニティサイクル等の検討
	13 自転車道の整備

基本目標2 人とまちをつなぐ安全・快適な交通	
(施策の方向)	(施策)
⑦人にやさしい交通環境の整備	14 あんしん歩行エリアの拡大
⑧都市交通の円滑化	15 道路網の再編成
	16 放射道路や環状道路による道路ネットワークの形成
	17 交通結節機能の強化
	18 都市内公共交通の形成
⑨自動車から公共交通への転換	19 既存の駐車場・駐輪場の有効活用
	20 パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進

基本目標3 高知の魅力・活力を高める交通	
(施策の方向)	(施策)
⑩広域交通ネットワークの強化	21 高速・広域交通体系へのアクセス機能の強化
	22 鉄道を活用した都市幹線の機能強化
⑪地域交通の強化	23 生活道路等の整備
	24 自然地域等における地域交通の導入
⑫観光交通環境の整備	8再 分かりやすい公共交通情報の提供
	25 二次交通の充実と利用促進
	26 観光バスの乗降スペースの確保
⑬中心市街地の回遊性の向上	27 自転車と歩行者が快適に通行できる空間づくり
	28 歩行者優先空間の検討
	29 中心部における自動車通過交通の抑制

基本目標4 市民・事業者・行政と連携・協働し, 支え育てる交通	
(施策の方向)	(施策)
⑭NPO・ボランティア活動等の推進	30 地域内連携協議会と行政との協働のしくみの構築
	31 NPO・ボランティア活動などへの支援
⑮交通マナー等の意識啓発	32 交通安全の推進
	33 交通安全施設の整備
	34 違法駐車、放置自転車等の対策

ー 見直しポイント ー

改正交通政策基本法
地域公共交通の確保維持
バリアフリーの推進
環境負荷の低減

見直しのポイント
公共交通の確保・維持
バリアフリーの推進
利便性向上

ー 見直しポイント ー

改正交通政策基本法
利便性向上
交通の運営の安定化
総合的な交通体系の整備等

見直しのポイント
利便性向上

ー 見直しポイント ー

改正交通政策基本法
観光振興・まちづくりの観点
地域の活力の向上

見直しのポイント
観光振興
にぎわいづくり

ー 見直しポイント ー

改正交通政策基本法
連携・協働による協議の促進
交通安全の確保

見直しのポイント
交通安全の取組の充実

■次期計画(案)

基本目標1 いきいきとした市民生活を支え, 人と環境にやさしい交通		※現行施策 の反映	公共 交通	自動車	徒歩・ 自転車
(施策の方向)	(施策)				
①地域交通の整備	1 生活道路の改善	23		◆	◆
	2 生活交通の確保・維持	1 24	◆		
②バリアフリーの推進	3 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	6 7 9	◆		
	4 自転車・歩行者の通行空間の安全確保	14			◆
③環境負荷の低減	5 環境にやさしい移動手段の推進	5 10 11	◆		◆

基本目標2 人とまちをつなぐ安全・快適な交通		※現行施策 の反映	公共 交通	自動車	徒歩・ 自転車
(施策の方向)	(施策)				
④公共交通 の利便性向上	6 利用促進・広報活動の実施	4 8	◆		
	7 総合的な地域公共交通ネットワークの再編	2 18 22	◆		
	8 利便性の高い運行サービスの提供	3	◆		
	9 交通結節機能の強化	17	◆		
	10 サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進	19 20	◆		
⑤広域交通の強化	11 道路交通網の再編	15		◆	
	12 高規格道路及び幹線道路等の充実	16 21 29		◆	

基本目標3 高知の魅力・活力を高める交通		※現行施策 の反映	公共 交通	自動車	徒歩・ 自転車
(施策の方向)	(施策)				
⑥観光等の強化	6再 利用促進・広報活動の実施	4 8	◆		
	13 観光地間の移動手段の利便性・快適性の向上	25 26	◆		
	14 移動そのものを活かした地域づくり		◆		◆
⑦地域活力の向上	12再 高規格道路及び幹線道路等の充実	16 21 29		◆	
	15 自転車を活用したまちづくりの推進	12 13			◆
	16 まちなかを歩きたくなる道づくり ～歩行者利便増進道路「ほこみち」の検討～	27 28			◆

基本目標4 市民・事業者・行政と連携・協働し, 支え育てる交通		※現行施策 の反映	公共 交通	自動車	徒歩・ 自転車
(施策の方向)	(施策)				
⑧ 連携・協働	17 地域ぐるみで支える交通環境づくり	30 31	◆	◆	◆
⑨ 交通安全	18 交通安全思想の普及徹底	32	◆	◆	◆
	19 交通安全施設その他の整備	33	◆	◆	◆
	20 自転車の安全利用と駐輪対策	34			◆

次期計画の概要（案）について

計画の概要

目 的

本市の交通を取り巻く環境の変化に対応するため、市民のニーズに即した持続可能な交通体系を構築し、市民・事業者・行政が共に支え合う仕組みを実現することで、交通全般について、めざすべき将来像を実現していきます。

計画期間

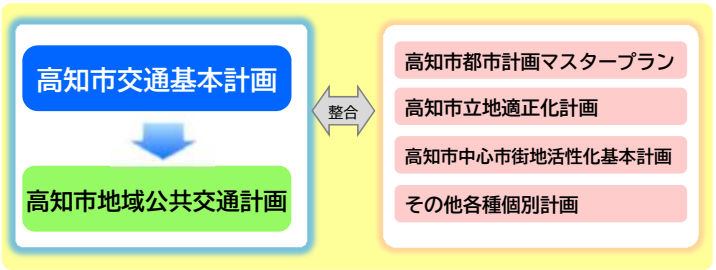
基本構想 2012（平成24）～2031（令和13） 20年間
基本計画 2022（令和4）～2031（令和13） 10年間

計画対象

公共交通、自動車交通、徒歩・自転車交通

上位・関連計画

高知市強靱化計画・高知市総合計画・人口ビジョン・総合戦略



計画の構成

基本構想

基本理念 安全・快適で環境にやさしい みんなで支え、明日へつなぐ交通空間
～市民・事業者・行政が連携・協働した効率的な交通体系をめざして～

将来像 人とまちをつなぎ、環境を守りにぎわいをうむ高知の交通
人・環境にやさしい 安全・快適 地域の活力 連携・協働

基本目標

目標 1	いきいきとした市民生活を支え、人と環境にやさしい交通
目標 2	人とまちをつなぐ安全・快適な交通
目標 3	高知の魅力・活力を高める交通
目標 4	市民・事業者・行政が連携・協働し、支え育てる交通

地域別の方針

交通別の方針

基本計画



地域別の方針

都心ゾーンの方針
既成市街地ゾーンの方針
周辺市街地ゾーンの方針
中山間地域ゾーンの方針
田園地域ゾーンの方針

交通別の方針

公共交通の方針
自動車交通の方針
徒歩・自転車交通の方針

次期計画の新たな視点

1. 交通政策基本法

公共交通の確保維持

利便性向上

地域活力の向上

バリアフリー化

交通体系の整備

連携・協働

温暖化対策

産業・観光の強化

交通安全

2. S D G s

本基本計画の取組と S D G s の同時推進が生み出す双方向の相乗効果により、さらなる計画の推進を図ります。



3. Society 5.0

Society5.0 の実現に向けて、交通分野におけるデジタル化の促進、生産性向上の取組等の新たなサービスの創出を目指します。

4. まちづくりとの連携

公共交通ネットワークによる都市構造の骨格と、居住や都市の生活を支える施設誘導を図る土地利用の誘導を一体的に捉え、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めます。

施策の方向と個別施策

基本目標 1 いきいきとした市民生活を支え、人と環境にやさしい交通

（数値指標）	公共交通利用率	
方向① 地域交通の整備	施策 1 施策 2	生活道路の改善 生活交通の確保・維持
方向② バリアフリーの推進	施策 3 施策 4	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進 自転車・歩行者の通行空間の安全確保
方向③ 環境負荷の低減	施策 5	環境にやさしい移動手段の推進

基本目標 2 基本目標 2 人とまちをつなぐ安全・快適な交通

（数値指標）	居住誘導区域内人口	
方向④ 公共交通の利便性向上	施策 6 施策 7 施策 8 施策 9 施策 10	利用促進・広報活動の実施 総合的な地域公共交通ネットワークの再編 利便性の高い運行サービスの提供 交通結節機能の強化 サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進
方向⑤ 広域交通の強化	施策 11 施策 12	道路交通網の再編 高規格道路及び幹線道路等の充実

基本目標 3 高知の魅力・活力を高める交通

（数値指標）	歩行者通行量	
方向⑥ 観光等の強化	施策 6 再 施策 13 施策 14	利用促進・広報活動の実施 観光地間の移動手段の利便性・快適性の向上 移動そのものを活かした地域づくり
方向⑦ 地域活力の向上	施策 12 再 施策 15 施策 16	高規格道路及び幹線道路等の充実 自転車を活用したまちづくりの推進 まちなかを歩きたくなる道づくり ～歩行者利便増進道路「ほこみち」の検討～

基本目標 4 市民・事業者・行政が連携・協働し、支え育てる交通

（数値指標）	交通事故発生件数	
方向⑧ 連携・協働	施策 17	地域ぐるみで支える交通環境づくり
方向⑨ 交通安全	施策 18 施策 19 施策 20	交通安全思想の普及徹底 交通安全施設その他の整備 自転車の安全利用と駐輪対策

横断的施策

リーディングプロジェクト（優先的・一体的な取組施策）

〔 L P － 1 〕 地域交通を守り支えるプロジェクト

施策 2 生活交通の確保・維持
施策 3 バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進
施策 17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

〔 L P － 2 〕 コンパクト・プラス・ネットワークを推進するプロジェクト

施策 7 総合的な地域公共交通ネットワークの再編
施策 9 交通結節機能の強化
施策 17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

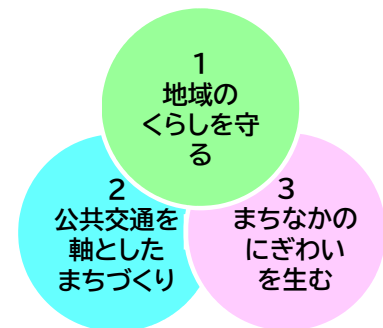
〔 L P － 3 〕 地域のにぎわいをつくるプロジェクト

施策 14 移動そのものを活かした地域づくり
施策 15 自転車を活用したまちづくりの推進
施策 16 まちなかを歩きたくなる道づくり
施策 17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

次期計画の概要（案）について

リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトは、交通の課題解決に向けて、重点的かつ優先的に取り組む必要がある複数の施策をパッケージ化し、市民・事業者・行政が連携・協働で一体的に施策を推進することで、基本計画を牽引する役割を担っています。



公共交通の確保・維持 1 地域交通を守り支えるプロジェクト

- ・路線バスや乗合タクシーなど日常生活に不可欠な移動手段の、確保・維持に取り組みます。
- ・誰もが快適に移動できるよう、車両や停留所施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進します。

施策2 生活交通の確保・維持

- バス路線の確保・維持
- 乗合タクシーの確保・維持

施策3 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

- バス停・電停等の利用環境の改善
- バス・電車車両の改善

施策17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

- 交通事業者、行政、地域住民、地域企業との連携・協働



交通ネットワークの形成

本市の道路網は、広域交通の役割を担う高規格道路と都心部から放射状に広がる幹線道路等によって、まちの骨格を形成しています。

公共交通は、JRを広域幹線、路面電車を都市幹線として、本市の公共交通のネットワークを形成し、路線バスが、周辺エリアと中心部をつなぐ支線・循環線の役割を担います。

また、周辺エリアでは、乗合タクシーなどで地域内をきめ細かく運行する地域交通システムを構築します。

そして、それぞれの交通が交通結節点（主要ターミナル、地域ターミナル、乗換ポイント）において、円滑に乗り換えができるよう結節機能の強化を図ることで、誰もが、快適に利用できる持続可能な交通ネットワークを形成します。

〈イメージ図〉



交通体系の再編 2 コンパクト・プラス・ネットワークを推進するプロジェクト

- ・持続可能な交通体系を形成するために、バス路線の再編やきめ細かなニーズに対応できるコミュニティ交通の導入に取り組みます。
- ・地域ターミナル等において、既存施設の活用や民間施設と連携することにより、利便性の向上を図ります。

施策7 総合的な地域公共交通ネットワークの再編

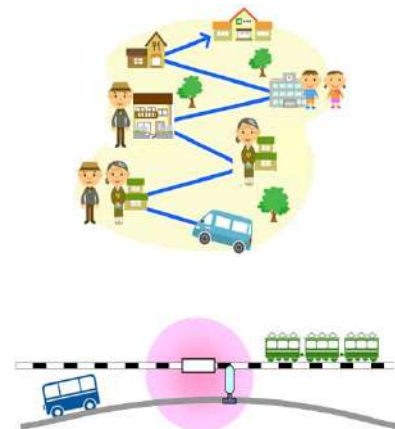
- バス路線の再編
- コミュニティ交通の導入

施策9 交通結節機能の強化

- 交通結節ポイントの機能強化

施策17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

- 交通事業者、行政、地域住民、地域企業との連携・協働



にぎわいづくり 3 地域のにぎわいをつくるプロジェクト

- ・路面電車を観光資源とした、まちなかのにぎわいづくりに取り組みます。
- ・まちなかの回遊性向上のため、商店街等と連携し、シェアサイクルの導入を検討します。
- ・歩行者を中心とした空間形成について、地域ぐるみで検討し、歩行者等にやさしい空間づくりに取り組みます。

施策14 移動そのものを活かした地域づくり

- 路面電車を活用した魅力づくり
- 気軽に周遊できる仕組みづくり

施策15 自転車を活用したまちづくりの推進

- シェアサイクルの導入

施策16 まちなかを歩きたくなる道づくり

- 気軽に周遊できるしくみづくり

施策17 地域ぐるみで支える交通環境づくり

- 交通事業者、行政、地域住民、地域企業との連携・協働

